

グアテマラ通信



青年海外協力隊

シニア海外ボランティア

日系社会青年ボランティア

日系社会シニア・ボランティア

平成26年度第4次隊

氏名：菅野 ひかる

職種：感染症・エイズ対策

派遣国：グアテマラ共和国

グアテマラのすごい職人たち ①トルティーヤ職人

グアテマラの主食は、とうもろこしの粉を練った生地を円く平たくのばして焼いたトルティーヤであり、各家庭や街なかの至る所で女性たちがそれらを焼く姿がみられます。手のひらで生地をたたいてのぼしながら、目の前の鉄板で焼くトルティーヤを火力の強いところから弱い所へと移動させ、次々と焼き上げていく様子は職人技です。一見簡単そうに見えて、実際にやってみると難しいのです。

一般家庭の台所では、ガス以上に薪が使われています。薪はガスよりも火力が強く、薪をくべて焼かれたトルティーヤはよりおいしく感じます。作り手によって厚さや大きさが異なり、原料となるとうもろこしの種類によって味が変わるトルティーヤを、食べ比べてみるとおもしろいです。



トルティーヤを焼く女の子



ある日の朝食。おかずとトルティーヤ

グアテマラのすごい職人たち ②バス運賃の集金係

グアテマラの地方では、移動の手段として一般的にバスが使われています。バス停以外の場所でも基本的には乗り降り自由で、乗る区間分の運賃を払うシステムになっています。

運転手と、運賃を徴収する集金係がペアで運行している場合が多く、乗客が入れ替わり立ち替わりいろいろな地点で乗降する中で、集金係はどの乗客がどの地点からバスに乗ってきたかを記憶し、乗客の行き先だけを聞いてその区間分の運賃を徴収します。彼らの記憶力にはいつも感心させられます。

文明の進歩によって機械化が進み、本来人間の能力として備わっているものを使わなくなればなるほどその能力は退化します。反対に、その能力を日常的に使えば磨かれるということも、彼らの仕事ぶりから感じさせられるのです。



首都・地方間を結ぶ大型の長距離バス



近距離・中距離間を走る乗合バス